

いらっしやい、川俣町。

イベントのまち「川俣町」に久しぶりに歓声が上がりました。4月23日(土)に町体育館で開催された「いらっしやい、川俣町。」では、たくさんの方々の笑顔が会場を埋めつくしました。久しぶりに感じた賑わいに、三千名を超える来場者の皆さんの中には、間違いなく希望の光がともされました。

**町に勇気を与えたい
という気持ちから生
まれたイベント**

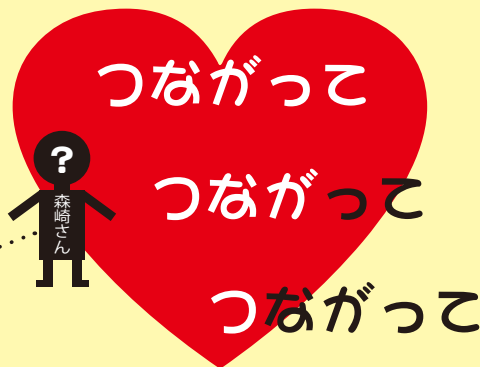
川俣町には全国に名をとどろかせる多くの特産品があります。しかし、東京電力福島第一原子力発電所の事故により風評被害が福島県全域に起こり、川俣町の特産品もその渦の中に呑みこまれてしまいました。売り上げは軒並み半分以下に激減してしまい、現在もなお、町内各企業はギリギリの経営努力を余儀なくされています。

そんな中、数々のまちおこしを仕掛ける森崎英五朗さん(福島市)のところに、有名漫画家福本伸行さん(代表作…賭博黙示録カイジ)から、「東京・吉祥寺の行きつけのホルモン焼きの店」焼



漫画家 福本 伸行さん

今回のイベントに大輪の花を添えていただいた福本先生に感謝！また、子どもたちにと、たくさんのお漫画もプレゼントしていただきました。ありがとうございました



焼家「わ」店主 光山 英明さん
この笑顔とおりのあったか～い光山さん。でも、仕事となると表情が一変。来場者の皆さんの笑顔がエネルギーに、光山さんは5時間以上熱い炭火の前でホルモンを焼き続けました

耐家「わ」の光山英明さんと、風評被害で悩んでいる福島を元気づけに駆けつきたいんだけど…と話を受け、森崎さんは、すぐさま「世界一長い焼き鳥の川俣町を励まして欲しい」と回答。光山さん自慢のホルモン200キを持ち込んでの炊き出しや、福本さんの呼びかけで12名もの日本を代表する漫画家の皆さんが来町することになったのです。緊急に企画されたイベントでしたが、口コミやツイッターなどで瞬く間に若者を中心に情報広がりが、雨降りにもかかわらず三千人を上回る来場者を数えました。改めて情報化時代の素晴らしいと感じることができましたが、裏を返せば今回のイベント情報の広まりと同じ経路で風評被害も広がりを見せるのかと思うと、私た

会場に駆けつけていただいた漫画家の皆さん【五十音順・敬称略()内は代表作】

板垣 恵介 (グラップラー刃牙) / 浦沢 直樹 (20世紀少年) / かざま 鋭二 (風の大地) / かわぐち かいじ (太陽の黙示録) / 西原 理恵子 (毎日かあさん) / 佐藤 秀峰 (ブラックジャックによろしく) / 葉月 京 (CROSS and CLIME) / 東村 アキコ (ママはテンバリスト) / 福本 伸行 (賭博黙示録カイジ) / 真鍋 昌平 (間金ウシジマくん) / 本 せういち (夢幻の軍艦大和) / 森川 ジョージ (はじめの一步)

イベントに参加していただいた漫画家の皆さんが書いた寄せ書きや色紙。力強い川俣町へのエールも一緒に込められています

【羽山の森美術館に展示中。必見です！】



しかーし、

なにはともあれ大入りのイベントに風評被害打破の手ごたえ

ちは情報というものをいかに正確に入手しなければいけないのかと身につまされる思いを抱きました。

さまざまなつながりにより三千名以上の来場者で、イベント

トは大盛り上がり。光山さんのホルモン焼きを始め、フレンチレストランオギノのスペシャルカレー、神戸から来た近兼さんのたこ焼き、富岡町で弁当屋を営んでいた藤田さんのおにぎり、福島市の大槻さんのもろきゆう、川俣町農業振興公社のシャモ汁など、"勇気の炊き出し"や、そのほか数多くの協賛いただいた品々に長い行列を作りながらも皆さん笑顔で順番を待っていてくれました。そして12名の有名漫画家の皆さんを乗せたバスが会場に到着すると、ざわ：ざわ：と場内に緊張が走り、カイズの福本伸行先生を始め、20世紀少年の浦沢直樹先生、毎日かあさんの西原恵理子先生など、日



会場に駆けつけられなかったみなさんからも、色紙で応援していただきました。



光山さんのスタッフの皆さん、先月いわき市で弁当屋の再スタートを切った藤田さん
大愛お疲れさまでした

阪神大震災の時の恩返しと参加した近兼さん
光山さんの友人、日テレの藤井アナも手頃にと取材に！
川俣町にズームイン！

皆さんの、心のごもった炊き出しに元気ができました
「シャモメンチ8個ください」ありがとうございました

本、いや世界を代表する12名の漫画家が来ては無理もない話し。その後、さらなる長蛇の列ができたのは言うまでもありません。
漫 画家の皆さんによるサイン会
の雰囲気はというと、とても和やかに行われ、自ら一人ひとりに話しかけ、限りなく要望にもこたえていただくなど、詰めかけたファンには生涯忘れられることのできない時間が過ぎていったのです。

「これからも川俣町はいくつものつながりを大切に、多くの皆さんとともに歩み続けます！」